

昭和35年4月、私は奈良県職員として採用された16人のひとりで、この同期生が49年頃から「三五会」と称して年1回、国内の各地を訪れるなどささやかな交流が続いています。

40回目を迎え、今年の参加者は男女合わせて8人。ハナミズキ(花水木)が見頃の小豆島では寒霞溪の景観、オリーブ公園そして壺井栄の代表作、木下恵介監督の映画「二十四の瞳」の世界へ。ふと気がつくと遠い昔にスクリーンで見た岬の分教場やボンネットバス、島に赴任してきた若い女の先生と子どもたちの物語の仲間に入っているような心地よさでした。



▲「二十四の瞳」像の前で

◎リニア中央新幹線・建設促進期成同盟会総会

4月19日、奈良市でリニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会総会(会長・荒井知事)が行われました。

平成23年、国の交通政策審議会の答申を受けて、県では24年9月以降、奈良県・市町村長サミットや市町村長アンケートなどを踏まえながら、望ましいリニア中間駅の候補地について意見を交換。

現在まで大和郡山市、生駒市、奈良市そして天理市も中間駅の候補地として意見を述べ、概ねJR樺本駅周辺を要望しています。

ご案内のとおり、このリニア中央新幹線は区間・東京都～大阪市、走行方式は超電導磁気浮上方式、最高設計速度505キロメートル/時、建設費(概算)9兆300億円、主な通過地は甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近です。

この日の総会でも

①東京・大阪間全線の同時開業

②整備計画どおり三重・奈良ルートとすること

③中間駅は県南部を含め奈良県全体に、紀伊半島をはじめ広い地域に効果をもたらす交通結節性の高い位置に設置すること

④建設主体のJR東海は名古屋・大阪間の環境影響評価の手続きに早期着手するとともに地域振興のため、地方公共団体の意見を十分に反映されること

などが決議され、昭和48年の全国新幹線鉄道整備法・基本計画の決定から、いよいよ夢のリニア新幹線が現実のものになるとしています。

◎前栽駅前駐輪場に防犯カメラ

3月下旬、天理市前栽校区区長会の安井将員・会長から「地域の努力にも拘らず、自転車盗が増えた、という声を耳にしています。ついては駐輪場に防犯カメラを設置してもらえないか、電気代など維持管理費は校区で負担してもよい」という趣旨でした。

市の地域安全課が県と事前協議中で、設置費用は県と市が折半の方向です。

県警本部が提唱する日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現プランにとり入れられると、県内では大和高田市、王寺町に次ぐ3例目となります。

◎行政相談委員へ総務大臣からの感謝状

3月31日付けで退任された北浦義明氏、西本紀子氏の長年の功績に感謝状が贈られました。

後任は太田謙作氏、鹿子木多津子氏のお二人です。

本年3月中に発生した奈良県下における車上荒らしなどの被害件数は152件で、前月に比べ9件の増加となり多発傾向にあります。被害の場所は、飲食店・スーパー・コンビニエンスストアの駐車場が全体の約5割を占めています。また、車外から見える状態で置いていたバッグなどが狙われており、9割の車に防犯設備が設けられていません。車上荒らしなどの被害に遭わないために

○店舗駐車場における防犯対策として、車内を空っぽにするのが最も重要です。○自宅における防犯対策としては、ガレージにセンサーライトを設置することや、車の警報器の設置が有効です。

県下では、本年4月14日現在、交通死亡事故による死者数が12人となり、そのうち65歳以上の高齢者が8人で、死者数の約67%を占めています。昨年は、交通事故死者数のうち高齢者の占める割合が低下したにもかかわらず、本年に入り高齢者の死亡事故が一転して増加傾向にあります。そこで、交通安全に対する意識を高めてもらおうと、春の交通安全県民運動期間中の4月10日に市文化センターで「交通安全高齢者のつどい」が開催されました。高齢者の事故をなくすためにつぎのことを守りましょう。○夜間外出時は、反射材を着用しましょう。○道路を横断する際は「待つ、見る、止まる」を励行しましょう。

☆天理警察署(☎62-0110)へ

天理安全

ニユース



【天理警察署】

車上荒らしなどが多発

高齢者の死亡事故が多発